**事業計画書**

**令和7年4月～令和8年3月**

****

**社会福祉法人　幸雪会**

**目　次**

**Ⅰ.　理念**

1.　基本理念

　2.　事業理念

　3.　運営方針

　4.　沿革

　5.　事業サービス概要

　6.　法人役員

　7.　設置委員会及び委員長

**Ⅱ.　令和7年度事業計画**

1. 社会福祉法人幸雪会　重点課題

・サービスの質の向上

・安全対策・環境整備

・感染症対策

・経費節減

・人材創出と育成

　2.　事業所別　重点課題

　　　 ・特別養護老人ホーム遊陶里

　　　 ・看多機遊陶里

　　　 ・ショートステイ遊陶里

　　 　・デイサービス咲陶里

　　　 ・看多機陶里夢

　　　 ・訪問看護ステーション遊陶里

　　　 ・その他事業所

3.　年間行事予定

・年間行事予定表

・その他定期行事予定

・内部研修開催予定

**Ⅰ.　理 念**

**1.基本理念**

**『和敬清寂』**

**2.事業理念**

『自宅のくつろぎに医療の機能を。』

『地域をささえる総合福祉サービスとともに、住み慣れた場所、なじみの顔で自分らしい生活と自分らしい人生を。』

**3.運営方針**

法人の理念を踏まえて多様なニーズに応え、地域社会への貢献と適正な法人の運営に取り組む。地域社会にとって安定感があり、社会福祉の面において基幹的な役割を担うことができるような施設づくりを目指します。緊急時対策としてインフラ整備等を徹底して、有事に備えた基盤を構築いたします。各関係機関と連携を密にし、チームとして問題解決を図るように努めます。

**4.沿革**

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 年 | 月日 | 歩み |
| 平成25年 | 6月19日 | 社会福祉法人幸雪会　設立 |
| 平成26年 | 7月1日 | 特別養護老人ホーム遊陶里　開設 |
| 平成27年 | 4月1日 | 住宅型有料老人ホーム小陶里　開設 |
| 平成30年 | 4月1日 | 住宅型有料老人ホーム咲陶里　開設 |

**5.事業サービス概要**

|  |  |
| --- | --- |
| 【地域密着型サービス】 | 【事業所】 |
| 地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護  看護小規模多機能型居宅介護  看護小規模多機能型居宅介護 | 特別養護老人ホーム遊陶里  看多機遊陶里  看多機陶里夢 |
| 【指定居宅サービス】 |  |
| 短期入所生活介護  訪問看護  通所介護 | ショートステイ遊陶里  訪問看護ステーション遊陶里  デイサービス咲陶里 |
| 【その他】 |  |
| 住宅型有料老人ホーム | 住宅型有料老人ホーム小陶里  住宅型有料老人ホーム咲陶里 |

**6.法人役員（理事6名・監事2名・評議員7名）**

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 役員名 | 氏名 | 役員名 | 氏名 |
| 理事長 | 浅倉　幸輔 | 評議員 | 西野　弘造 |
| 常務理事 | 浅倉　和子 | 評議員 | 高井　修 |
| 理事 | 高安　史仁 | 評議員 | 福江　由理子 |
| 理事 | 宮崎　哲朗 | 評議員 | 足立　一弘 |
| 理事 | 山口　照之 | 評議員 | 西野　則子 |
| 理事 | 中　静香 | 評議員 | 乾　紀人 |
| 監事 | 後藤　芳嗣 | 評議員 | 小畑　拓治 |
| 監事 | 長島　弘明 |  |  |

**7.設置委員会及び委員長**

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 委員会名 | 氏名 | 委員会名 | 氏名 |
| 感染対策委員会 | 後岡　真紗子 | 身体拘束廃止委員会 | 矢倉　久美 |
| 環境美化接遇委員会 | 井上　正弥 | 虐待防止委員会 | 大西　陽子 |
| 給食委員会 | 大谷　貴子 | ターミナルケア委員会 | 梅野　和子 |
| 広報イベント委員会 | 中　貴洋 | 防災・ICT委員会 | 横田　哲也 |
| 苦情対策委員会 | 豊浦　人美 | リスクマネジメント委員会 | 南島　とみ子 |
| 褥瘡対策委員会 | 小勝負　沙樹 | 研修・新人教育委員会 | 浅野　小百合 |
| 運営推進委員会 | 村上　知香 | 入所選考委員会 | 山口　照之 |

**Ⅱ.　令和7年度事業計画**

1. **社会福祉法人幸雪会　重点課題**

**【サービスの質の向上】**

　今年度も『サービスの質の向上』を最重点課題として取り組んでまいります。前年度と同様に基本的な課題として法人の理念や事業所の運営方針・行動指針の周知があります。理念を具現化して運営方針や行動指針を具体的に明文化して、職員の意識づけや動機づけに繋げて明確な目標を持ちより質の高いサービスを提供いたします。

　『サービスの質の向上』の根幹として、職員の知識や技能の習得が挙げられます。経験よりスキルの差異がありますが、サービス提供の平均化も勘案し全職員が同じレベルでサービス提供をできるような体制を強化してまいります。具体的には全体会議での情報の共有、研修会・勉強会の定期開催、フロア会議及び委員会での問題点の抽出、運営推進会議での外部評価に基づいた検証・改善を実施いたします。また新人職員はOJTを中心として各種研修の受講を推進して育成して介護現場のサービスの質の向上へ反映させていきます。

　最終的には、職員ごとの目標を設定して期間内の達成を目指すことが、法人全体のレベルアップを上げることになり、質の高いサービス提供に繋がると考えます。

**【安全対策・環境整備】**

　リスクマネジメント委員会が中心となり、毎月のフロア会議で各事故報告に基づいて討議を行い、リスクマネジメント委員会で検証し、奇数月に開催される運営推進会議の場で外部からの意見や評価を請っています。対策については、より具体的な対策を勘案して必要であれば物品の購入や環境の整備を実施していきます。

　今年度は前年度より懸案事項となっている見守りセンサーの導入を検討しています。前年度に特別養護老人ホーム遊陶里において転倒リスクの高い入所者様に見守りセンサーのデモンストレーションを行い、対象ユニットの職員より概ね満足のできる反応がありましたので積極的に導入の推進を図っていきます。導入することにより職員の業務の効率化にも繋がると期待できます。

　また導入を推進していますインカムにつきましては、全ての施設での導入が完了しました。今後は有事の際に、冷静かつ迅速な対応ができるように定期的な訓練を実施してまいります。

**【感染症対策】**

　前年度は新型コロナウイルス感染症も落ち着き、報道されることも少なくなってきました。しかしながら、インフルエンザウイルスやノロウイルスの流行は例年と比較して規模の大きな流行となったようです。当法人においては前年度も小規模でありましたが、新型コロナウイルス感染症によるクラスターが発生し、懸念事項となってしまいました。今後も既存の感染症や未知のウィルスのパンデミックも考えられますので、今年度も引き続き感染症対策の強化を行ってまいります。

　基本的には清掃・消毒の徹底、換気の励行、マスクの着用、ソーシャルディスタンス確保を実施して感染症の侵入、拡大防止に努めていきます。クラスター発生の際に滞りなく業務を遂行できるように、BCPに基づいたシミュレーションを行い、職員への感染も想定した定期的な人事異動を実施していく。

　また看護部と感染対策委員会を中心として、他関係部署と連携を密にして職員への感染症に対しての意識づけを深めていきます。

【**経費節減**】

　近年、国際的な原材料価格の上昇による物価高騰が続いています。要因としては、断続的な円安の進行や長引くロシアのウクライナ侵攻による不安定な世界情勢が挙げられます。令和6年度も前年度と同様に物価上昇指数が前年度と比較して約3.0％上昇し、当法人においては、特に水道光熱費や食材費は顕著な高騰となりました。また人件費については、人員不足への対応措置として人材紹介会社への経費の投下や特定技能外国人の雇い入れに注力したために経費増となりました。

　今年度は食材費の抑制に関しては、入所者・入居者・利用者様からの意見を精査し、職員の利便性や業務負担などを考慮して、食事形態の見直しや仕入業者の変更を検討していきたいと思います。水道光熱費は職員へのコスト意識を浸透させ、ムダを削除した業務改善を行っていきます。

　また職員のコスト意識の向上を啓蒙して、日常業務におけるロスを徹底的に排除することが経費の節減に繋がり、課題の達成に向けて最も重要なことだと思います。

**【人材創出と育成】**

　前年度は、新卒採用者1名・中途採用者24名を雇用することができましたが、28名の退職者があり、法人全体では3名減となりました。特にパート介護職員とパート看護職員の退職が目立った1年でした。また初めての試みとして2名の特定技能外国人の採用を行い、検証しますと期待以上の成果を得ることができました。安定したサービスの提供には人員確保が重点課題となりますので引き続き目標として掲げました。

　基本的は例年同様に人材紹介会社との連携体制を強化して、イベントへの参画を主たる活動として人材創出を推進していきます。また特定技能外国人の雇用も積極的に行い、今年度は4名の雇い入れを計画しております。新卒者につきましては、例年通りハローワークを通じて活動していく予定です。

　人材育成面では、介護職員・看護職員・管理栄養士等、職種ごとの知識と技能の向上を促進する外部研修受講への推進の強化、資格取得に向けてのバックアップ体制の見直しを中心として個々の能力の底上げとスキルの獲得などを目的して質の高いサービスの提供に繋げていきます。

1. **事業所別　重点課題**

**【特別養護老人ホーム遊陶里】地域密着型介護老人福祉施設入居者生活介護**

前年度は、目標稼働率99.0％を目指しましたが、令和6年4月及び夏期に空床や入院された入所者様が多く散見し結果的には稼働率は95.3％の結果に終わってしまいました。実績としては前年比103.4％と一昨年並みの実績まで回復しました。

今年度も目標稼働率を99.0％に設定して運営していきますが、感染症の影響は少なくなったものの入所者様の高齢化に伴う一定数の退所は予測されます。以上の環境を想定し入所者様の退去による空床に備えて、当法人の各部門・各事業所との情報共有化を図り、早期の新規入居者様の受け入れに努めます。入居申込者の選考は透明性を確保するために判定基準の明確化、定期的な入所判定会議の実施、必要書類の精査などを行っていきます。

入院された入所者様については、医療機関と連携を図り正確に状態を把握して受け入れ態勢を整備して、介護支援専門員・介護職員・看護職員と協力医療機関の連携を強化し入所者様の健康管理に努めていきます。また救急搬送受入医療機関も新たに契約を締結し、定期的なカンファレンスを開催して情報共有を行い迅速に対応できる体制を構築します。

ケアプランの充実を図り多様なニーズに対応して、家族が看取りケアを希望する場合は、事前に十分な話し合いをしてできる限り意向に沿うように努めていきます。

最後に居宅支援事業所や地域包括支援センターなどと連携を図り、地域に貢献できる事業所を目指してまいります。

**【看多機遊陶里】看護小規模多機能型居宅介護**

　前年度は実績として前年比100.6％の微増で終わりました。令和6年4月の時点では、登録定員数の29名対して22名の利用者様しか確保できませんでしたが、徐々に回復し令和7年3月末時点では28名の登録に至りました。

今年度も安定した定員数の確保を最優先事項として利用者様、家族様のニーズを把握し、満足度の高いサービスを提供してまいります。また訪問看護ステーション遊陶里と連携を強化して、緊急時対応の体制の再構築をします。

適正な人員配置を行い、勤務表や介護日誌で明確にして健全な運営を目指していき、地域運営推進会議を通じて、事業所の運営状況の報告や地域包括支援センター・他事業所職員・民生委員・家族などからの評価を受けて、各部門にフィードバックして質の高いサービスの提供を実施してまいります。

**【ショートステイ遊陶里】短期入所生活介護**

前年度は、85.0％の稼働率を目標とし89.4％の稼働率で終えることができました。前年比10.6％の改善となり、令和6年度の前半3ヶ月は平均75.0％程度で推移し厳しいスタートでしたが、8月・9月・10月の3ヶ月が好調で最終的な稼働率に大きく貢献しました。今年度は稼働率90.0％以上に目標を設定して運営していきまたいと思います。

今年度も新規利用者様の獲得が最優先事項として、定期的に居宅支援事業所や近隣病院の地域連携室などに訪問または資料送付を行い、新規利用者様の獲得精度を上げることに繋げていきます。またサービスの質の向上を図るため、有資格者の職員配置を行い利用者様のリピート率の増加に繋げてまいります。

長期利用者様についてはお泊り付きデイサービス咲陶里の併用を提案し、ベットコントロールを行い地域のより多くの方に利用いただけるように努めます。また利用者様の状態を鑑みて住宅型有料老人ホームへの入居や他サービスへの変更を家族様・担当ケアマネージャーと相談の上に提案してまいります。

**【デイサービス咲陶里】通所介護**

前年度は85.0％の稼働率を目標としました。結果として稼働率76.1％に留まり一昨年から0.5％改善しましたが、ほぼ横ばいで終わりました。実績としては、前年比92.6％と大きく割り込み早急な対策が必要であります。

今年度も目標稼働率を85.0％に設定し運営していきますが、まず当事業所の強みである宿泊サービスを充実させることを最優先とし地域に貢献できる体制を整備していきます。また新規利用者様の獲得に向けて、営業面を強化し老人保健施設・地域病院・地域包括支援センター・居宅介護支援事業所などへのアプローチを推進していきます。

利用者様に向けては、新型コロナウイルス発生前に注力していたビュッフェスタイルの食事形態の導入を検討しております。当事業所の強みを強調し他事業所と差別化を図れるように努力して魅力ある事業所として運営してまいります。

**【看多機陶里夢】看護小規模多機能型居宅**

前年度は定員数18名で17名の定員確保で終わってしまいました。実績としては、一昨年に新規事業所として開設したこともあり200.1％の結果を残すことができましたが、今年度も引き続き18名の定員の確保と前年比105.0％以上の実績を目標とします。

今年度は特に通所サービスの充実を掲げて運営に取り組んでまいります。新しいイベントの企画や満足度の高いレクリエーションの実施などに創意工夫を凝らして、地域に根差した事業所として努力していきます。

**【訪問看護ステーション遊陶里】訪問看護**

前年度は暫定ではありますが、前年比約40.0％の結果で終わりました。前年度は看護職員の確保が最優先事項として掲げましたが、結果として2名の減員となってしまいました。新規利用者様の獲得には事業所として体制の整備を最優先する必要があります。今年度も人材紹介会社との連携やホームページ・広告等で集うことに注力し早期の改善を実施したいと思います。

**【その他事業所】住宅型有料老人ホーム**

その他事業所の重点目標としては、住宅型有料老人ホーム小陶里・住宅型有料老人ホーム咲陶里の入居率100.0％の確保が最優先として挙げられます。前年度前半は各施設に空床が目立ちましたが、以降は順調に回復し安定した入居率を確保できました。

当法人において住宅型有料老人ホームの入居率を高水準で維持すことは、他事業所と連携していくうえで大変重要な事項であります。特に看多機遊陶里・看多機陶里夢・訪問看護ステーション遊陶里の3事業所は影響も大きく連携によりシナジー効果を得ることが期待できるため常に意識することが必要であります。

また職員の知識・技能の向上に注力し、事故の無い安全で安心できる施設を目指していきます。

**3.年間行事予定**

**【年間行事予定表】**

|  |  |
| --- | --- |
| **年　月** | **行　事** |
| 令和7年4月 | お花見 |
| 令和7年5月 | 端午の節句、音楽レクリエーション母の日、健康診断、消防訓練 |
| 令和7年6月 | 父の日 |
| 令和7年7月 | 七夕祭り |
| 令和7年8月 | 夏祭り、流しそうめん |
| 令和7年9月 | 敬老会 |
| 令和7年10月 | 秋祭り、ハロウィン祭、外出レクリエーション |
| 令和7年11月 | 音楽レクリエーション、健康診断、消防訓練 |
| 令和7年12月 | クリスマス会、大晦日 |
| 令和8年1月 | 初詣（施設内）、獅子舞 |
| 令和8年2月 | 節分、事業所自己点検 |
| 令和8年3月 | 雛祭り |

**【その他定期行事】**

クラブ活動…絵手紙クラブ・手芸クラブ・書道クラブ　毎月

食事レクリエーション…特別食・カフェレク　毎月

移動スーパー…毎月4回

お誕生日会…毎月

地域運営推進会議…奇数月

**【内部研修開催予定】**

|  |  |
| --- | --- |
| **年　月** | 研修 |
| 令和7年4月 | 身体拘束三原則 |
| 令和7年5月 | 看護現場でのリスクマネジメント・アンガーマネジメント |
| 令和7年6月 | 食中毒について |
| 令和7年7月 | 褥瘡予防の取り組み・認知症の基礎 |
| 令和7年8月 | 介護施設における接遇 |
| 令和7年9月 | 身体拘束0を目指して・終末期からのからだの理解 |
| 令和7年10月 | 介護現場でのリスクマネジメント |
| 令和7年11月 | 新型コロナウイルス・インフルエンザの同時流行に備えた対応 |
| 令和7年12月 | 仰臥位のポジショニング・高齢者虐待防止法 |
| 令和8年1月 | 接遇について |
| 令和8年2月 | エンゼルケアについて |
| 令和8年3月 | 認知症について |